

川崎市知的財産戦略推進プログラム

— 2018（平成 30）年度～2021（平成 33）年度 —

（案）

目 次

知的財産戦略推進プログラム.....	1
1 期間.....	1
2 目的.....	1
3 推進体制.....	1
4 知的財産戦略推進プログラム.....	1
資料編.....	6
1 川崎市知的財産交流会.....	6
2 知的財産交流事業での他都市との連携状況.....	7
3 知的財産交流事業における成約事例.....	7
4 新聞掲載一覧.....	11

知的財産戦略推進プログラム

1 期間

このプログラムが対象とする期間は、2021(平成33)年度までの4年間としています。

2 目的

このプログラムは、川崎市知的財産戦略の基本方針を実現するため、7つの施策と27の事業で構成される戦略的・体系的な施策群を構築することを目的としています。

「オープンイノベーション都市かわさき」の実現に向けて、本プログラムに基づき、知的財産を本市産業の振興に活かすための各種事業を体系的に推進します。

3 推進体制

本市においては、常に現状・課題の把握に努め、プログラムの更新を図っていくとともに、施策の着実な実施と施策広報資料やホームページの活用などにより積極的に情報発信を図っていきます。

また、公益財団法人川崎市産業振興財団においては中小企業サポートセンターとして中小企業支援施策等の着実な実施と施策広報資料、ホームページの活用や企業訪問などにより積極的に情報発信を図るとともに、市内中小企業の現状・課題把握に努めていきます。

さらに、施策の実施に当たっては、日本弁理士会などの外部機関との連携を積極的に図っていきます。

4 知的財産戦略推進プログラム

本市では知的財産戦略の実現に向けた基本方針を踏まえ、以下の7つの施策と関連する3つの重点事業及び27の事業に取り組みます。

<基本方針>	<施策>	<事業>
基本方針1 知的創造サイクル (創造・保護・活用)の推進	(1)新技術・新製品開発支援	① 研究開発の支援 ② 産学官研究開発体制の構築
	(2)相談・コンサルティング	① 窓口相談、専門家派遣及び企業訪問の強化 ② 専門家人材の情報提供 ③ 市有特許の活用促進
	(3)国際化支援	① 成長市場・成長分野における海外展開支援 ② 国際展開における相談・情報提供機能の提供
基本方針2 知的財産を尊重する風土の醸成	(4)人材育成	① 知的財産スクールの実施(重点事業) ② セミナーの実施 ③ 研究会の実施 ④ 科学技術に関するセミナーの実施 ⑤ 基盤技術、ITに関する研修の実施 ⑥ 科学技術・知的財産教育
	(5)知的財産モラルの醸成・発信	① 身近に知的財産にふれる機会の提供 ② 市民向け生涯学習講座の実施 ③ 職員の意識向上
基本方針3 川崎モデルの知的財産交流の推進	(6)技術移転・交流促進	① 知的財産交流会の実施(重点事業) ② 知的財産シンポジウムの実施(重点事業) ③ 中小企業と大学の連携の促進 ④ 環境技術情報の収集・発信 ⑤ かわさき科学技術サロンの実施 ⑥ 個別産業分野における交流の促進 ⑦ 中小企業とクリエイター・デザイナーの連携の促進
	(7)事業化支援	① ブランド化の支援 ② 販路開拓の支援 ③ 資金調達支援 ④ ビジネスオーディションの開催

(1) 新技術・新製品開発支援

① 産学官研究開発体制の構築

公益財団法人川崎市産業振興財団が有する産学官ネットワークとコーディネート支援機能を活かし、中小企業・大学の連携による戦略的な研究開発プロジェクトの創出を図ります。

② 研究開発の支援

中小企業が行う新製品開発や大学等との共同研究開発、福祉製品の開発・改良に要する経費を補助します。また、補助事業に必要な特許等の利活用に必要な経費も併せて補助対象とします。また、環境分野においては、産学公民連携による共同研究を実施し、環境研究の場の提供や環境技術開発等の契機を創出することで環境技術等の研究・開発を支援します。

(2) 相談・コンサルティング

① 窓口相談、専門家派遣及び企業訪問の強化

知的財産に関する窓口相談を実施します。また、出張キャラバン隊などの企業訪問活動や専門家派遣によって、知的財産に関する施策の紹介や診断・助言、知的財産戦略策定の支援等を行います。中小企業に対して、各種支援策の積極的な活用を促進することで、知的財産活用による競争力の強化や、自らが創造した知的財産の権利化・保護を図ります。

② 専門家人材の情報提供

技術開発や知的財産に関するアドバイザーを求める企業などを対象に弁理士、技術士などの専門家の人材データベース情報をインターネット上で提供します。

③ 市有特許の活用促進

本市が行う研究活動を通じて生み出された保有する特許等について積極的に情報発信を行うとともに、市内企業によるそれらの活用に関する相談機能を強化します。

(3) 国際化支援

① 成長市場・成長分野における海外展開支援

拡大するアジア市場への販路開拓や環境・医療機器産業等の成長市場、川崎ものづくりブランド等の本市施策と連動した市内企業の海外展開を促進します。

② 国際展開における相談・情報提供機能の提供

川崎市海外ビジネス支援センター（KOB S）において、海外ビジネスに関する知的財産などの情報提供サービスを行います。

(4) 人材育成

① 知的財産スクールの実施(重点事業)

経営戦略に知的財産の視点を活かすための基礎的なカリキュラムで構成された「かわさき知的財産スクール」を実施し、知的財産人材を育成します。

② セミナーの実施

中小企業者等を対象とする各種セミナーにおいて、知的財産に関する基本的な知識や制度改正に対応する高度な専門知識の習得など幅広いテーマでのセミナーを実施することにより多様な知的財産人材の育成を図ります。

③ 研究会の実施

中小企業における知的財産戦略の重要性への理解を深めるとともに、特許を活用した新たな事業化を進める際の問題点や具体的な解決方法等を学ぶ研究会を開催します。

④ 科学技術に関するセミナーの実施

市内に立地する大学等の研究機関の研究開発内容や科学技術に関するセミナー、フォーラム等を開催することで、先端科学技術の成果を研究者や技術者に還元し、知的財産の創造や活用に資する研究・開発を促進します。

⑤ 基盤技術、ITに関する研修の実施

精密加工やCAD/CAMなどの基盤技術、IT・ソフトウェア開発、技術経営などに関する研修を実施することで、高度な技術・技能を持つ技術者などの産業人材を育成し、知的財産の創造や活用の担い手としての市内中小製造業者等の技術力の向上を図ります。

⑥ 科学技術・知的財産教育

教育現場等において、知的財産の創造の源となる科学技術に触れる機会の提供など、次代の担い手への科学技術・知的財産教育を充実します。

(5) 知的財産モラルの醸成・発信

① 身近に知的財産にふれる機会の提供

「音楽のまち・かわさき」、「映像のまち・かわさき」、「しんゆり・芸術のまち」などの取組を推進する中で、市民が音楽や映像など身近な知的財産に触れる機会を提供し、啓発を図ることで、知的財産に対する意識を高めていきます。

② 市民向け生涯学習講座の実施

市民向け生涯学習講座等において知的財産や科学技術の重要性を認識し、意識を啓発するセミナーを実施します。

③ 職員の意識向上

本市が率先して知的財産モラルの醸成・発信を行うとともに、本市が保有する知的財産の活用を積極的に図るため、本市職員の知的財産に対する意識向上を図ります。

(6) 技術移転・交流促進

① 知的財産交流会の実施(重点事業)

中小企業の新製品開発等の新事業展開を支援することを目的に、大企業・研究機関等の開放特許等の知的財産を中小企業に紹介する交流会や個別マッチングを行うとともに、マッチング成立後の製品開発や販路開拓など製品化・事業化に向けた総合的な支援を行います。

② 知的財産シンポジウムの実施(重点事業)

大企業、大学・研究開発機関等のシーズ活用事例などを紹介し、中小企業の知的財産活用への関心を高め、新事業展開を促進するためのシンポジウムを開催します。

③ 中小企業と大学の連携の促進

大学の研究シーズを活用した中小企業の製品開発のほか、大学の研究活動に必要な実験装置や部材等の試作開発を中小企業がサポートする「試作開発促進プロジェクト」などを通じ、中小企業と大学の双方向による交流を促進します。

④ 環境技術情報の収集・発信

臨海部を始めとした市内に集積する優れた環境技術を国内外に紹介するとともに、専門機関と連携して知的財産保護についてのアドバイスを行いながら、「川崎国際環境技術展」などを通じて、国内外への技術移転を促進します。

⑤ かわさき科学技術サロンの実施

川崎発のイノベーションを活性化する知の交流拠点を形成し、オープンイノベーションを促進していくため、様々な組織に所属する分野の異なる研究者・技術者が互いの顔の見える交流や知的刺激を得られる場を提供するため「かわさき科学技術サロン」を開催します。

⑥ 個別産業分野における交流の促進

市内の産業集積や地域資源を生かすとともに、今後の成長産業の振興を図るため、ライフサイエンス、環境、福祉、農業の産業分野における交流を促進します。

⑦ 中小企業とクリエイター・デザイナーの連携の促進

中小企業とクリエイター・デザイナーとのマッチング機会の提供やセミナーの開催等を通じて、高付加価値な製品づくり、効果的な販売促進などを図り、新産業の創出や新製品・新サービスの実現を促進します。

(7) 事業化支援

① ブランド化の支援

「川崎ものづくりブランド」の工業製品の認定制度、市内最高峰の匠「かわさきマイスター」の認定制度、福祉製品の独自規格「かわさき基準(KIS)」の認証などにより、優れたものづくり製品・技術の価値を高め、広めていく取組を推進します。

② 販路開拓の支援

優れた知的財産を活用した新製品など、多岐にわたる新技術や製品の展示・実演の場を提供し、企業製品及び技術力のPR・販路の拡大・商取引の促進を図るための工業見本市の開催及び出展支援を行います。

③ 資金調達の支援

優れた技術やノウハウなどの知的財産を活用した事業化に要する資金調達に対応するため、信用保証協会や金融機関との協調による融資制度により支援するとともに、民間金融機関やベンチャーキャピタルとの積極的な連携を図っていきます。

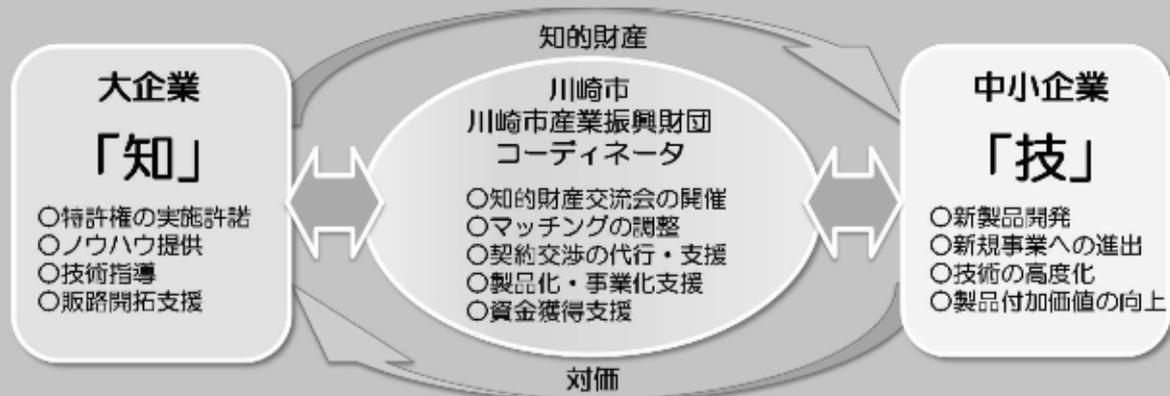
④ ビジネスオーディションの開催

様々な分野のビジネス・アイデアを公募し、優れたアイデアには信用保証協会や金融機関との協調による融資制度との積極的な連携やベンチャーキャピタル等との出会いの場の提供などの特典を付与するほか、各ステージに応じた専門家による継続的なアドバイスなどのサポートを行います。

1 川崎市知的財産交流事業

川崎市知的財産交流事業の概要

- 大企業の知的財産を中小企業へ移転するスキームは全国初
- 開放特許とは、他社へライセンス可能な特許等の知的財産
- 国内特許162万件のうち、約半数の83万件が未利用
- 「自社製品を持ちたい」、「新規事業に取り組みたい」前向きな企業に最適な事業
- 中小企業が比較的安価な対価により、不足する技術を速やか、低リスクに導入可能
- 自治体、支援機関、金融機関等がコーディネート



川崎市知的財産交流事業の特徴

- 出会いの形は3方式一少人数制で“顔”の見える関係を重視
 - ①不特定多数（オープン）型、②任意団体（クローズド）型、③個別（1対1）型
 - マッチング会を68回開催、延べ約2千社の中小企業が参加
- 金融機関との連携

川崎信用金庫、東京TYフィナンシャルグループ、横浜銀行から川崎市と川崎市産業振興財団に職員が出向中小企業支援のノウハウ、金融機関ならではの企業ネットワークで相互協力
- 行政が中小企業と大企業の間をきめ細かにコーディネート

場の提供に留まらず、交渉、契約、製品開発、資金獲得、商品化に至るまで一貫した支援
合言葉は“ライセンスはゴールではなくスタート”

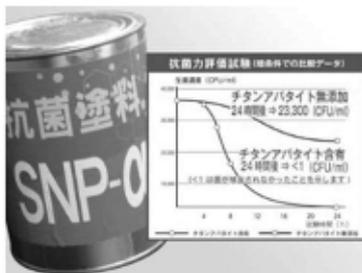


2 知的財産交流事業での他都市との連携状況



3 知的財産交流事業における成約事例

チタンアパタイト抗菌塗料「SNP-α」



光触媒抗菌塗料「SNP-α」を開発



抗菌フィルムが川崎信用金庫(全店)と八千代銀行(市内)のATM端末に採用



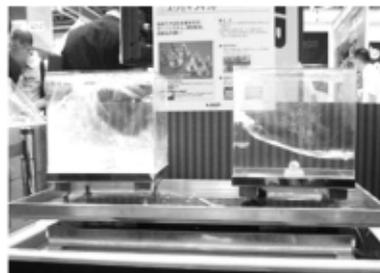
ポイント！ 最も人気のある特許技術は「チタンアパタイト光触媒」
川崎信用金庫と八千代銀行のATM・両替機に抗菌フィルム採用

- 【導入企業】 株式会社末吉ネームプレート製作所（川崎市多摩区中野島1653）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「樹脂組成物」（特許第3928596号）
- 【成約日】 平成20年5月30日付（平成20年度②）
- 【成約概要】 製品プレートの製造販売を手掛ける末吉ネームプレート製作所では、顧客への提案力を高めるため、富士通の特許を導入して、「チタンアパタイト含有抗菌塗料」を開発し、新規事業展開を図っている。
開発した塗料は「SNP-α」の名で製品化されており、川崎市産業振興会館のパソコンスクールのキーボードに加工処理され、22年度には「川崎ものづくりブランド」にも製品認定された。八千代銀行の川崎市内3店舗のATM端末のほか、川崎信用金庫の全店舗のATM端末・両替機に抗菌フィルムが採用された。

免振台足「スウェイフト」



地震の揺れから財産を守る免振台足



確かな効果(右側にスウェイフト装着)

ポイント！ 特許といっても必ずしもハイテク、最先端技術ばかりではない
知的財産の専門知識がなくても知財マッチングは可能

- 【導入企業】 株式会社スタックス（川崎市中原区下沼部1750）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「電子機器の免震台足」（特許第3058364号）
- 【成約日】 平成21年1月13日付（平成20年度③）
- 【成約概要】 スタックスは、0.01t～の薄板板金加工とアルミ溶接加工を得意とする金属製品製造業者。富士通から導入した特許「電子機器の免震台足」は、阪神淡路大震災での被災の経験から生まれた免震技術で、機器類をアンカーで固定するのではなく、可動軸と可動受け皿により振動を吸収し、電子機器や家具等を転倒から守る仕組みになっている。ライセンス契約からわずか一か月で製品化にあたり、その間に振動試験による性能評価と、記者発表、川崎市国際環境展展示まで実施した超スピード案件である。その3か月後には、LAMPブランドで知られる大手金具メーカーのスガツネ工業から全国に広く販売されており、特に東日本大震災以降、着実に販売実績を伸ばしている。

出席管理システム「かいけつ出席」



代返防止機能付きは日本初！

ポイント！ 知財交流をきっかけに売上が急増し過去最高益を記録
出席管理システムがそれまでの200台から1,500台へ急拡大

- 【導入企業】 株式会社アルファメディア（川崎市中原区小杉町3-264-3）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「出席管理スキャナ装置」（特許第3354094号）
- 【成約日】 平成23年4月1日付（平成23年度①）
- 【成約概要】 アルファメディアでは、大学や専門学校に向けた出席管理システムを製造・販売しているが、学校側からはいわゆる“代返”を防止する改善の声が寄せられていた。富士通から導入した特許は、机にRFIDタグを貼り、読取装置で学生証と1対1で対応させて認識するもので、同社ではこれを活用し、代返防止機能付きの出席管理システムを開発した。知財交流をきっかけに、従来製品の売り上げが好調であり、採用大学数はそれまでの6大学から44大学に、販売台数は200台から1400台と急拡大している。

フレグランスカード 「アロマレフレール」



携帯できるカード型フレグランス製品



フレグランスカードのサイズ
縦54×横86×厚さ1.5(mm)

サイズはキャッシュカードと一緒

ポイント！ 専修大学経済学部の学生との産学連携から生まれたコンシューマ製品
製品アイデアは学生からも得ることができる

- 【導入企業】 株式会社松本製作所（川崎市中原区井田杉山町17-35）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「芳香発散装置」（特願2011-61447）
- 【成約日】 平成24年11月21日付（平成24年度③）
- 【成約概要】 プラスチック製品の射出成型加工を手掛ける松本製作所では、富士通の特許「芳香発散装置」を導入し、初の自社製品としてコンシューマー向けのカード型芳香グッズ「アロマレ・フレール」の製造販売を開始した。
これは、セラミックス製の芳香チップをプラスチックカードに組み込んだフレグランス製品で、好みの香水やアロマをチップに染み込ませて、名刺入れや各種のポーチに入れて香りを楽しむことができる。現在、柄入りのデザイン6種と無地のカード6種が販売されている。

家畜健康維持飼料「フジロン」



豚のエサに振りかけるだけ



稚内産珪藻頁岩「ナノソーヤロック」



チタンアパタイトと混合した「フジロン」

ポイント！ 金融機関の職員が特許と企業の出会いをコーディネート
文系力の強みを発揮した知的財産マッチング

- 【導入企業】 株式会社フロンティアインターナショナル（川崎市麻生区五カ田2-9-1）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「病原の感染防止方法」（特許第5076401）
- 【成約日】 平成25年5月13日付（平成25年度①）
- 【成約概要】 養豚等の畜産向け人口受精器材の輸入販売を手掛ける、フロンティアインターナショナルでは、誕生から間もない、子豚の下痢による死亡事故を改善するため、富士通が所有する「光触媒チタンアパタイト」の特許を導入し、これと稚内産珪藻頁岩「ナノソーヤロック」を混合した健康維持飼料「フジロン」を製品化した。
同社との出会いのきっかけは、八千代銀行の百合ヶ丘支店長が、チタンアパタイト関連特許を同社に紹介したことにあり、金融機関との連携が知財マッチングの成約を生んだ好例である。光触媒材料を豚のエサに混合する発想は、文系ならではの発想である。

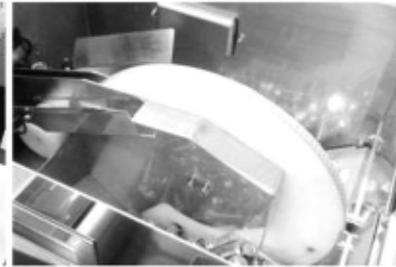
自動車生産ライン用パーツカウンター



自動車の生産ラインから生まれた特許



車種に応じて必要な数だけボルトを供給



随所にもものづくりの技あり

ポイント！ 従業員数わずか3名の企業が国内外の自動車メーカーと取引
日産自動車の特許を導入して製品化、トヨタ自動車と共同で改良・特許出願

- 【導入企業】 株式会社ミス（川崎市高津区宇奈根758）
- 【提供企業】 日産自動車株式会社（横浜市西区高島1-1-1）
- 【知的財産】 「部品定数供給装置」（特願2013-132176）
- 【成約日】 平成25年12月27日付（平成25年度②）
- 【成約概要】 オーダーメイド型の自動組立機や検査装置の設計、製造、設置、保守まで一貫して手がけるミスでは、日産自動車の特許を導入して念願の自社製品を開発した。本装置は生産ラインにおいて、ボルトを必要な時に必要な数だけ、自動的に作業者に供給するものである。日産自動車が生産作業の改善活動の中で開発したもので、国内外の工場に展開するにあたり、ミスがパートナーに選ばれている。ミスでは独自に構造を最適化し、小型・低コスト化、動作の信頼性と安全性の向上、コントロールの追加などを施し、複数の自動車メーカーへ好評販売中。

身体洗浄用石鹸「Takara Protect Soap」

お土産用
「宝養生せっけん」



外国人に人気の緑起物をデザイン
(5個セット)

中高年・ガテン系男性向け
「川崎力」



チタンアパタイト量2倍
ニオイと汚れを強力に除去

セレブ女性向け高級石鹸
「エステルの瞳」



死海の泥を贅沢に配合
自分へのご褒美に

ポイント！ チタンアパタイト光触媒を配合し、洗浄力と消臭力に優れ肌にも優しい
楽天市場・Yahoo!ショッピングサイトで先月から発売開始！



TAKARA-Protect Soap 宝養生せっけん ～心落ち着く和の香り～ ゲストルーム
おもてなしにも チタンアパタイト配合 緑起物 ギフト 贈答



TAKARA-Protect Soap 川崎力 ～超ハイテク除菌・抗ウイルス石鹸～ チタンア
パタイト配合 体臭 加齢臭 汗臭 メンズデオドラント



TAKARA-Protect Soap 石鹸 せっけん エステルの瞳 ～高品質な死海の泥と豊
かな泡に包まれて～ チタンアパタイト配合

4 新聞掲載一覧

掲載日	新聞社名	企業名	内容
2015. 04. 03	東京新聞	佐々木工機/ミットヨ他	大企業の持つ特許を生かせ 中小企業が 続々新製品 市などが交流会 21 件仲介 成立、13 件製品化
2015. 04. 08	日本経済新聞	アルファメディア/NEDO 他	耐熱ガラスなど特許紹介 川崎で知的財 産交流会 地元中小メーカー団体開催
2015. 04. 08	神奈川新聞	川崎市工業団体連合会他	中小の製品開発促進へ 市工連 知財交 流会に 100 人 「川崎モデル」の紹介な ど
2015. 04. 09	日刊工業新聞	川崎市工業団体連合会他	知財交流、事業ヒントに 川崎市工団連 開放特許活用事例紹介
2015. 04. 10	神奈川新聞	NPO 法人かわさき市民アカ デミー他	「川崎モデル」紹介 市局長ら講師 市 民大学の前期講座
2015. 04. 21	毎日新聞	佐々木工機/ミットヨ他	大企業特許で製品開発 川崎市知的財産 交流会がきっかけで 真空吸着スタンド 開発
2015. 06. 11	日刊工業新聞	川崎市/川崎市産業振興財 団	知財交流を全国展開 2015 年度経産 省補助事業で採択 「“川崎型” 知的財産 交流活動の強化および全国展開事業」 「川崎モデル」を広域展開
2015. 06. 19	神奈川新聞	川崎市/川崎市産業振興財 団他	「川崎モデル」全国展開 ものづくり活 性化を 知財活用し中小企業支援 宮崎 県や長野県岡谷市などとも連携
2015. 06. 30	東京新聞	川崎市/川崎市産業振興財 団他	「地方創生キックオフフォーラム」もの づくり産業 支援事業を全国展開 川崎 モデル 中小と大企業をつなぐ
2015. 07. 09	神奈川新聞	川崎市他	最先端技術ずらり 「テクノトランスフ ァー in 川崎 2015」 大企業の開放特 許を紹介し中小企業との個別マッチング を行う「かわさき知的財産シンポジウ ム」を開催
2015. 07. 10	神奈川新聞	松本製作所/川崎市他	川崎ものづくりブランド認定式 富士通 の開放特許を活用し、町工場の高い技術 力を発揮して生み出した、カード式の芳 香グッズ「アロマレフレール」も認定
2015. 07. 11	神奈川新聞	松本製作所/川崎市他	川崎ものづくりブランド認定式 富士通 の開放特許を活用し、地元大学生と連携 して初の自社製品 カード式の芳香グッ ズ「アロマレフレール」が認定
2015. 07. 23	産経新聞	川崎市他	「川崎モデル」知財交流 県外へ展開
2015. 08. 03	日本経済新聞	川崎市他	自治体、大手の特許中小へ ライセンス 橋渡しで成果 川崎市地元 1000 社超を訪 問
2015. 8. 26	宮崎日日新聞	宮崎県/川崎市	川崎市 中小企業支援を模索 延岡の鐵 工団地視察
2015. 9. 1	岳南朝日新聞	富士宮市/川崎市	「川崎モデル」で中小企業振興へ 川崎市が富士宮市と連携 全国展開視野 に知的財産交流活動を強化へ

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2015. 9. 2	岳陽新聞	富士宮市／川崎市	地域産業経営強化で行政力アップ 全国で話題、中小企業支援「川崎モデル」取り入れ
2015. 9. 2	富士ニュース	富士宮市／川崎市	川崎型で知財活用 中小企業支援の広域連携
2015. 09. 11	日刊工業新聞	川崎信用金庫／イトーキ	川崎信金 イトーキの特許商品化へ交流会
2015. 09. 17	長野日報	岡谷市/川崎市	「川崎モデル」を岡谷市に セミナー開放特許活用の開発紹介
2015. 09. 17	神奈川新聞	岡谷市/川崎市	「川崎モデル」全国へ 中小知財交流事業 長野・岡谷市で初セミナー
2015. 10. 01	日刊工業新聞	神奈川県中小企業家同友会他	川崎発ビジネスマッチング 「ビジネスリポート2015」で知財交流会と個別マッチング
2015. 10. 06	神奈川新聞	イクスリサーチ/専修大学他	製造業者と大学生タッグ ロボットで橋脚点検 きっかけは大学生が大企業の開放特許を活用し商品アイデアを競い合う「知財活用アイデア全国大会」
2015. 10. 23	岳陽新聞	富士宮市／川崎市	「川崎モデル」を例に 地方自治体の生き残り賭けて 市と信金職員、合理的な中小企業の支援方法学び
2015. 10. 23	岳南朝日新聞	富士宮市／川崎市	「川崎モデル」中小支援へ本格始動 マッチング仲介役担う宮信職員対象に勉強会
2015. 10. 29	静岡新聞	富士宮市／川崎市	「川崎モデル」富士宮に展開 大企業の開放特許、中小での活用後押し
2015. 10. 26	フジサンケイビジネスアイ	シャープ/川崎市他	シャープ、中小に開放特許 川崎で交流会参加 早期成約目指す
2015. 11. 02	金融経済新聞	川崎信用金庫／川崎市他	川崎信金 知財交流 大企業も 市、「地方創生の一手段」
2015. 11. 19	日刊工業新聞	川崎市/川崎市産業振興財団/川崎信用金庫	川崎モデル大賞を受賞 日本弁理士会主催の「知的財産活用支援大賞」で
2015. 11. 20	岡谷市市民新聞	岡谷市／川崎市	川崎モデル知財交流会 大手企業の開放特許を紹介
2015. 12. 08	長野日報	岡谷市/川崎市他	大企業が開放特許紹介 岡谷市川崎モデル知的財産交流会
2015. 12. 08	日本経済新聞(長野版)	岡谷市/川崎市他	大企業の開放特許紹介 岡谷市が催事 地元企業と商談 川崎モデル講演会も
2015. 12. 08	東京新聞	松本製作所/川崎市/富士通	従業員5人の松本製作所 香る携帯カバー開発
2016. 01. 28	日本経済新聞(長野版)	佐々木工機/サイウインド/ミットヨ/川崎市/岡谷市	サイウインド、休眠特許活用 ディスプレー保持アーム開発 自治体が橋渡し 県内初の製品へ
2016. 02. 10	日刊工業新聞	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	京急、券売機に試験導入 タッチパネル用抗菌シート 知的財産交流会で富士通の開放特許の光触媒抗菌塗料を利用し開発したシートで

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2016. 02. 18	神奈川新聞	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	券売機に抗菌シート 京急川崎駅で試験導入 知的財産交流事業を活用して開発した光触媒チタンアパタイト技術を使用して開発
2016. 02. 22	日本経済新聞	松本製作所/富士通/専修大学他	眠る特許 学生が覚醒促す
2016. 02. 24	朝日新聞	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	京急、券売機に抗菌シート 全国初、京急川崎駅などで試行
2016. 02. 26	日刊工業新聞	川崎信用金庫/川崎市他	中小支援「川崎モデル」新段階 キャラバン隊 官金連携 助成活用や知財交流促す 市、地元の川崎信用金庫と協力 支店を回り営業担当に勉強会開催
2016. 02. 26	タウンニュース	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	「川崎モデル」の券売機登場 京急川崎に
2016. 03. 01	東京新聞	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	京急券売機に抗菌シート 川崎駅と空港駅に9月まで試験導入 大企業の持つ知的財産を使って市内中小企業が開発 市が仲介し、全国初
2016. 03. 02	産経新聞	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	富士通の特許技術を使い市内企業が製品化 抗菌シート 京急券売機に試験導入 川崎市、世界展開を期待
2016. 03. 08	日刊工業新聞	富士ゼロックス/川崎市	富士ゼロックス、3特許開放 川崎市と事業創出支援 知的財産交流会に初参加
2016. 03. 08	讀賣新聞	末吉ネームプレート製作所/京浜急行電鉄	抗菌シート駅の券売機に 市内企業開発 京急が試験導入 大企業の持つ知的財産を使い市内企業が製品化
2016. 03. 10	神奈川新聞	川崎市他	中小企業支援へ川崎モデル発信 「川崎モデル広域連携シンポジウム」開催
2016. 03. 18	岳南朝日新聞	川崎市/富士宮市	川崎モデル 知財交流事業に協力依頼 須藤市長が福田川崎市長を表敬 広域連携に感謝伝え
2016. 04. 07	日本経済新聞	宝養生資材/富士通/東大	光触媒せっけん開発 大学や企業が保有する特許を中小企業が使う川崎市の支援事業を通じ3社が協力
2016. 04. 20	日刊工業新聞	森田テック/川崎市	電磁波を見える化 光磁界測定装置
2016. 05. 18	日本経済新聞	高橋建設/イトーキ/ダイワテック	イトーキと特許使用契約 高橋建設 鋼製パネルで防音
2016. 05. 18	日刊工業新聞	高橋建設/イトーキ	地元の中小企業が特許契約 家具大手と「市知的財産交流事業」で
2016. 05. 18	讀賣新聞	高橋建設/イトーキ/ダイワテック	イトーキの特許 中小2社が活用 川崎市が知財交流
2016. 05. 19	岡谷市民新聞	ダイワテック/イトーキ	岡谷 川崎 両市の連携で初成果 ダイワテックがライセンス契約
2016. 05. 19	信濃毎日新聞	ダイワテック/イトーキ	H形鋼連結 特許使用へ契約 岡谷のダイワテック イトーキと
2016. 05. 21	日本経済新聞	川崎市他	新産業創世記～眠れる特許51% 異業種結ぶ特許

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2016. 05. 30	金融経済新聞	川崎信用金庫/イトーキ	川崎信金 知的財産交流 開始2年で初成果 イトーキ 防音技術を中小企業に
2016. 06. 01	神奈川新聞	高橋建設/イトーキ/ダイワテック	地域超え特許契約 「知的財産交流事業」で
2016. 06. 06	日経産業新聞	マイス	眠れる特許中小に果実 大手の技術、行政橋渡し「川崎モデル」 日産→町工場ネジ供給機ヒット
2016. 06. 08	日経産業新聞	末吉ネームプレート製作所 京急電鉄	鉄道各社、中小、VB と組む
2016. 06. 10	日本経済新聞	末吉ネームプレート製作所 京急電鉄	券売機に抗菌シート 富士通の特許活用 9月末まで効果検証 同様のシートを川崎信用金庫全店舗 ATM、両替機にも導入実績あり
2016. 06. 24	タウンニュース	高橋建設/イトーキ	知財交流通し大手技術活用
2016. 07. 14	日刊工業新聞	川崎市/川崎信用金庫他	川崎モデル全国展開へ 知的財産交流産官金でネットワーク
2016. 08. 23	フジサンケイビジネスアイ	川崎市他	地方創生成功のカギは「地元任せ」信金と自治体が一枚岩で成果 「川崎モデル」「富士宮モデル」
2016. 09. 11	日刊工業新聞	川崎信用金庫/イトーキ	川崎信金 イトーキの特許商品化へ交流会
2016. 09. 02	日刊工業新聞	川崎市他	川崎モデル全国普及へ 中小支援官金連携 キャラバン隊など知見共有 市、広域ネット形成探る
2016. 10. 21	岳南朝日新聞	富士宮市/川崎市他	「川崎モデル」を伝えるキャラバン隊 中小企業支援へ市内3社を視察 経営改善に向け意見交換
2016. 10. 21	岳陽新聞	富士宮市/川崎市他	「川崎モデル」ノウハウ活用し、地元産業活性化へ
2016. 11. 02	金融経済新聞	川崎信用金庫/川崎市他	川崎信金 知財交流 大企業も 市、「地方創生の一手段」
2016. 11. 09	柏崎日報	柏崎信用金庫/柏崎市/川崎市	「川崎モデル」に学ぶ 柏崎信金 勉強会に60人
2016. 11. 15	日本経済新聞	データプロセスサービス/ NHK エンジニアリングサービス	顔認証で勤怠管理開発 川崎市の企業 NHK の開放特許活用 川崎市知的財産交流会を知的財産交流会が仲介
2016. 11. 17	日刊工業新聞	川崎市/川崎信用金庫	官金連携「川崎モデル」キャラバン組み訪問 合同で若手研修会
2016. 11. 22	神奈川新聞	データプロセスサービス/ NHK エンジニアリングサービス	顔パス勤怠管理 市内企業が開発 2014年9月の知的財産交流事業に参加し NHK の技術と出会う
2016. 11. 23	朝日新聞	データプロセスサービス/ NHK エンジニアリングサービス	出退勤「顔認証」で管理 NHK の技術活用 川崎市や市産業振興財団が知財交流会で結び付け
2016. 11. 24	日刊工業新聞	スタックス	自社製品で新たな成長 知的財産交流会を利用し大手企業の開放特許活用 富士通の特許で免震台足「スウェイフット」開発

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2016. 12. 2	ニッキン	柏崎信用金庫/柏崎市/川崎市	「川崎モデル」学ぶ 柏崎市と合同で
2016. 12. 11	東京新聞	データプロセスサービス NHK エンジニアリングサービス	顔認証で勤怠管理 ソフト開発・販売 NHK の開放特許利用
2017. 01. 11	神奈川新聞	川崎信用金庫/川崎市	横浜銀、川崎信金表彰へ 政府 地方創生の優良事例で
2017. 03. 19	岳南朝日新聞	富士宮市/川崎市/イトーキ	川崎モデル知的財産交流会 in 富士宮
2017. 03. 22	日刊工業新聞	愛媛県/川崎市他	愛媛県産業特集 県内産業活性化のために スゴ技企業の製品・技術交流会で川崎市などのコーディネータを招き勉強会
2017. 03. 23	静岡新聞	富士宮市/川崎市/イトーキ	川崎モデル知的財産交流会 in 富士宮 オフィス進化と企業成長テーマ イトーキ社長が講演
2017. 03. 24	岳陽新聞	富士宮市/川崎市/イトーキ	川崎モデル知的財産交流会 in 富士宮 大企業の『知』と中小企業の『技』のマッチングで新しい価値の創出を
2017. 05. 03	日刊工業新聞	東京 TY フィナンシャルグループ他	大田区で知財マッチング会を5月30日に開催 富士通やイトーキ、NEDOなどが技術シーズを紹介
2017. 05. 10	日刊工業新聞	川崎市他	広がる「川崎モデル」 知財交流会から試作協力へ 大企業と中小、新たな連携開放特許活用の枠組み拡大
2017. 06. 03	宮崎日日新聞	イトーキ/花菱精版工業	椅子改良に開放特許 県仲介初の事例 2016年度から取り組む知的財産マッチングがきっかけで
2017. 06. 03	神奈川新聞	川崎市/富士宮市	「産業連携に関する基本協定」を富士宮市と締結 知財交流の共同開催や人材マッチング支援などで連携
2017. 06. 16	タウンニュース	川崎市/富士宮市	「川崎モデル」で協定 調印式には川崎市から三浦淳副市長、富士宮市から須藤秀忠市長
2017. 07. 19	日刊工業新聞	川崎市産業振興財団/ セブン&アイ	中小の販路確保 商業施設に販売スペース オープンイノベーション施策「川崎モデル」の一環で販路面を強化
2017. 08. 09	日刊工業新聞	関東経済産業局/ 川崎市産業振興財団	大手と地域企業連携促す交流 関東局が開催 川崎市産業振興財団が「知的財産マッチングやコーディネート活動」を紹介
2017. 08. 18	日刊工業新聞	宝養生資材/富士通/東大	高洗浄・抗菌せっけん開発 大手企業の知財活用 知的財産交流会を通じて開発
2017. 08. 21	毎日新聞	宝養生資材/富士通/東大	富士通特許活用 せっけんを製品化、販売
2017. 08. 25	タウンニュース	宝養生資材/富士通/東大	異業種からせっけん誕生 大手技術で自社特許開花 川崎市が実施している知的財産交流事業を活用
2017. 09. 01	日刊工業新聞	川崎市/三井住友銀行他	大手の開放特許中小の活用促進 大企業の開放特許を中小企業の自社製品開発に活用する知的財産交流会を開催

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2017. 09. 01	フジサンケイビ ジネスアイ	川崎市他	生かせ！知財ビジネス 地方発知の戦 略・神奈川県 “川崎モデル” からの新 展開に注目
2017. 09. 09	神奈川新聞	川崎市産業振興財団/ 横浜企業支援財団他	地域の垣根越え知的財産交流会 同市が 合同で「匠オープンイノベーションマッ チング」開催
2017. 09. 27	大分合同新聞	大分県/発明協会/ 川崎市産業振興財団	知財の指針見直し 県 IoT や AI に対応 大企業の特許を中小企業に移転 大分市 の相談会で「川崎モデル」の取り組みを 紹介
2017. 09. 29	建設工業新聞	清水建設 和興計測・岩手電気・津田 山製作所	川崎市知的財産交流会 天井屋根裏点検 向け照明付き架台製品化 川崎の中小グ ループ清水建設の特許改良
2017. 09. 29	建設産業新聞	清水建設 和興計測・岩手電気・津田 山製作所	川崎市知的財産交流会 清水建設の知的 財産活用 屋根裏の点検作業を高効率に
2017. 10. 02	建設通信新聞	清水建設 和興計測・岩手電気・津田 山製作所	川崎市知的財産交流会 隠蔽部も簡単撮 影 WIT が 360 度カメラ用照明付架台改良 版
2017. 10. 06	タウンニュース	清水建設 和興計測・岩手電気・津田 山製作所	製品改良に中小企業一役 知的財産交流 会通じて
2017. 10. 06	山形新聞	高島町/米沢市/川崎市他	休眠特許を活用し製品開発 川崎市と連 携 大企業と地元企業結ぶ
2017. 10. 09	日経MJ	宝養生資材	せっけんに衛生水＋光触媒

川崎市知的財産戦略推進プログラム（案）

— 2018（平成 30）年度～2021（平成 33）年度 —

問い合わせ 川崎市経済労働局産業政策部企画課オープンイノベーション推進担当

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町 11-2

川崎フロンティアビル 10 階

電話 044-200-3896 FAX 044-200-3920

e-mail 28kikaku@city.kawasaki.jp

「川崎市知的財産戦略及び推進プログラム」(案) に関する意見募集について

本市では、知的財産を活用した産業振興の基本方針として計画期間を10年間(2007(平成20)年度~2017(平成29)年度)とする「川崎市知的財産戦略」を策定し、産業振興に取り組んでまいりました。

戦略策定から10年が経過し、国の動向やこれまでの実績を踏まえ、2018(平成30)年3月の戦略改定に向け、作業を進めています。

このたび、2018(平成30)年度から2025(平成37)年度までの8年間の計画期間とする「川崎市知的財産戦略」(案)と2018(平成30)年度から2021(平成33)年度までの4年間の計画期間とする「川崎市知的財産戦略推進プログラム」(案)を取りまとめましたので、広く市民の皆様から御意見を募集いたします。

1 意見募集期間

2017(平成29)年11月27日(月)から2018(平成30)年1月5日(金)まで
※郵送の場合は当日消印有効とします。

※持参の場合、土日祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)を除き、8時30分から12時と、13時から17時15分の時間帯でお持ちください。

2 資料閲覧場所

川崎市役所第3庁舎2階(かわさき情報プラザ)、各区役所(市政資料コーナー)並びに
経済労働局企画課

※川崎市ホームページ「意見公募(パブリックコメント)」からご覧いただけます。

3 意見の提出方法

御意見は、電子メール(専用フォーム)、FAX、郵送、持参のいずれかでお寄せください。
※意見書の書式は自由ですが、「御意見」とともに、必ず「題名」、「氏名(法人または団体の場合は、名称及び代表者の氏名)」、「連絡先(電話番号、FAX番号、住所及びメールアドレス)」を明記してください。なお、氏名・連絡先は、意見書の内容を確認させていただく場合があるために記載をお願いするものです。

※電子メールの場合は、川崎市ホームページの「意見公募(パブリックコメント)」にアクセスし、案内に従って専用フォームを御利用ください。

4 注意事項

○お寄せいただいた御意見に対する個別回答はいたしませんので御了承ください。なお、市の考え方を、後日市ホームページで公表いたします。

○お知らせいただいた個人情報、川崎市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱います。御意見等の概要を公表する際に、個人情報を公開することはありません。

○電話や来庁による口頭での御意見はお受けできませんので御了承ください。

5 問い合わせ・提出先

川崎市経済労働局産業政策部企画課

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階

電話：044-200-3896 FAX：044-200-3920